

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)8月5日 No.1098

## 目次

ロシア電力業界の現状①.....	坂口 泉 1
統計速報.....	10
キーパーソン.....	14
C I S 諸国通貨の最新為替レート.....	14

### ロシア電力業界の現状①

#### ーロシアの電力業界の全般的状況ー

はじめに 周知のとおり、ロシアの生産分野では、バーター取引や相互決済などの現金を介在しない決済が主流となっているが、電力分野においてはとくにこの傾向が強い。たとえば、原子力発電所では、決済に占める現金の割合がせいぜい5%程度だといわれている。率直に言って、投資対象あるいは商売相手としては魅力に乏しい存在であったといえる。ところが、最近になり、CO2削減問題との絡みでロシアの電力分野に対する関心が急激に高まりつつあるように思われる。そこで、本紙では、今回から3回にわけ、ロシアの電力業界の現状をとりあげることとする。

#### 1. ロシアの主要電力事業者および電力の販売形態

ロシア最大の電力会社は、ロシア統一電力システム(以下UESと称する)という持ち株会社で、傘下に72の地域電力会社、34(35という説もある)の大規模発電所等を有する。その他、UESは、地域間送電線をすべて保有している。

この他、ロシアには、UESと直接的な資本関係を有さない電力会社(以下、独立系電力会社と称する)が存在する。イルクーツクエネルギー、タトエネルギー(この2社は地域電力会社であるが、UES傘下には入っていない)、およびロスエネルギーアトム(8つの原子力発電所を傘下におさめるコンツェルン)等が、独立系の電力会社の範疇に入る。

各連邦構成主体毎に存在する地域電力会社(全国に74社存在)は、担当域内の送電線のすべて、ならびに配電線の大半を保有しており、域内での電力の(小売)販売を行っている。原則的に、各地域電力会社が最終需要家への電力販売を行っているようだが、別会社(仲介業者)が最終需要家への電力販売を行うことも珍しくないようである。各連邦構成主体域内の電力料金は、その地域の「地域電力委員会」により定められる。筆者が受ける印象では、この地域電力委員会は、当該の地方行政政府と非常に密接な関係を有しているように思われる。換言すれば、電力価格設定にあたっては、当該地方行政政府(あるいは行政政府の知事)の意向が考慮されるこ